

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2005-187490(P2005-187490A)

【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-426671(P2003-426671)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	1/12	(2006.01)
C 1 1 D	1/29	(2006.01)
C 1 1 D	1/52	(2006.01)
C 1 1 D	1/75	(2006.01)
C 1 1 D	3/32	(2006.01)
C 1 1 D	17/08	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/20
C 1 1 D	1/12
C 1 1 D	1/29
C 1 1 D	1/52
C 1 1 D	1/75
C 1 1 D	3/32
C 1 1 D	17/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月19日(2005.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

$R^{1a} - (G)_e$	(1 - 3)
$R^{1a} - O - (C_2H_4O)_f - H$	(1 - 4)

[R^{1a} は上記と同一の意味を示す。]

cは1~4の数であり、好ましくは1である。

dは1~4の数であり、好ましくは1である。

Gは単糖残基、eは平均値1~5、好ましくは1~3、特に好ましくは1~2の数を示す。

fは平均値2~5の数を示す。]

一般式(1-1)の化合物は、2-エチルヘキサノール、iso-ノナノール、iso-デカノールとエピハロヒドリンやグリシドール等のエポキシ化合物を、BF₃等の酸触媒、又はアルミニウム触媒を用いて反応させて製造する方法が一般的である。